主な仕様

電源	DC6V(単4形乾電池×4本：別売)
	外部電源：DC6V　300mA((弊社品番03-1718 ／ 03-1995推奨)
スピーカー	口径38mm(16Ω)　1W
接続端子	●外部電源：DC6V 300mA(⊖-⊂-⊕)　●イヤホン：φ3.5mmステレオミニプラグ
受信周波数	AM：522～1629kHz(内蔵フェライトバーアンテナ)
	FM：76～90MHz(ロッドアンテナ)
	TV：UHF13～62ch(ロッドアンテナ)
時計	月差±60秒　1セグTV受信時自動調整機能付 月差±5秒

乾電池による連続使用可能時間の目安

新品アルカリ電池の場合(音量中位)		新品マンガン電池の場合(音量中位)	
スピーカー使用時：	ラジオ／約24時間	スピーカー使用時：	ラジオ／約10時間
	テレビ音声／約8.5時間		テレビ音声／約3.5時間
イヤホン使用時：	ラジオ／約30時間	イヤホン使用時：	ラジオ／約12.5時間
	テレビ音声／約9時間		テレビ音声／約4時間

外形寸法	幅127mm×高さ84mm×奥行31.5mm(突起物を含まず)
質量	約187g(乾電池を除く)
付属品	ステレオイヤホン(約90cm)、取扱説明書、保証書

※乾電池による連続使用可能時間の目安は使用状況により異なります。　※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。　※取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

OHM　株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

修理に関するご相談は　修理ご相談センターへ
電話受付　048-992-3970 平日 9：00～17：00 土・日・祝日及び年末年始は除きます

製品に関するお問い合わせは　お客様相談室 へ
●通話料無料　●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006　048-992-2735
電話受付　平日 9：00～17：30　土曜 9：00～17：00 ※日曜・祝日及び年末年始は除きます

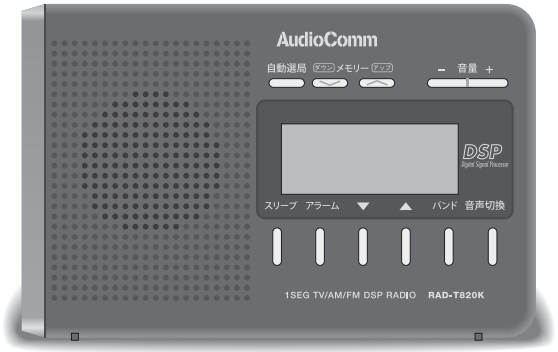
07-8221A

AudioComm®

取扱説明書

1セグ TV/AM/FM DSPラジオ

型番 :RAD-T820K



このたびは、AudioComm® 1セグ TV/AM/FM DSPラジオを お買い上げいただき、誠にありがとうございました。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。**"この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にご使用ください。"**また、お読みになった後も、ご使用時にいつでも見られるよう大切に保管してください。

目次

免責事項……1
安全上のご注意 …… 1〜3
各部の名称……4
乾電池の入れかた ……5
電源のオン／オフ ……5
ホールド機能 ……6
時刻の設定方法……6
ラジオを聴く …… 7〜9
1セグテレビの音声を聴く ……10〜11
アラーム …… 12
スリープ …… 13
イヤホンで聴くときは…… 13
外部電源で使用するときは …… 14
故障かなと思ったら …… 14
お手入れのしかた …… 14
主な仕様…… 裏表紙
保証書とアフターサービスについて…… 裏表紙

免責事項　下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

	△記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。（左図の場合は感電注意が描かれています。）
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。（左図の場合は分解禁止が描かれています。）
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。（左図の場合は、ACアダプターをコンセントから抜く、が描かれています。）

⚠ 警告

使用禁止	**万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに使用を中止する** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。	禁止	**車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しない** ●交通事故の原因になります。 ●歩きながら使用するときも、他の交通の妨げにならないよう十分にご注意ください。
使用禁止	**万一、内部に水や異物などが入った場合は、使用を中止する** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店にご連絡ください。	禁止	ACアダプター（市販）使用時 **仕様以外のACアダプターを使わない。特に海外では絶対に使わない** ●異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
禁止	**分解、修理、改造しない** ●火災・感電の原因となります。	禁止	ACアダプター（市販）使用時 **本機やACアダプターを布団などで覆わない** ●熱がこもってケースが変形したり、火災の原因になることがあります。
禁止	**台所や浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しない** ●火災や感電のおそれがあります。		
乾電池に注意	**乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池を誤って飲み込むことがないようにする。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する** ●乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。	接触禁止	ACアダプター（市販）使用時 **雷が鳴りだしたら、本機やACアダプターに触れない** ●感電の原因になります。
		濡れ手禁止	ACアダプター（市販）使用時 **本機やACアダプターを濡れた手で操作しない** ●感電の原因になります。

⚠ 注意

禁止	**ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所、振動の多いところに置かない** ●落下による故障やけがの原因となることがあります。	禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない** ●故障の原因となることがあります。

次ページへ続く

⚠ 注意

禁止	**湿気やほこりの多い場所に置かない** ●火災・感電の原因となることがあります。	正しく入れる	**乾電池を挿入するときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示通り正しく入れる** ●間違えると、乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
禁止	**落としたり、重いものを載せたりしない。また、本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない** ●本機の故障や破損の原因になることがあります。	禁止	**指定以外の乾電池は使用しない** ●乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
禁止	**はじめからボリュームを上げすぎない** ●突然大きな音が出て、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。	乾電池を取り外す	**長時間本機を使わないときは、安全のため必ず乾電池を取り外す** ●火災・液もれの原因となることがあります。
禁止	**長時間、大音量で聴き続けない** ●周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。		

乾電池を安全にお使いいただくために

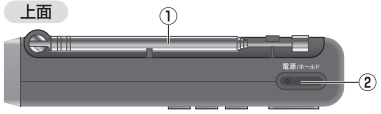
乾電池の液もれ、発熱、破裂等の事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠ 警告	●火中への投入、加熱、分解をしない ●乾電池を幼児に触らせない ●ショートさせない ●新しい乾電池と使用した乾電池、種類の異なる乾電池(マンガンとアルカリ)を混ぜて使わない	⚠ 注意	●⊕⊖の表示通りに入れる ●指定以外の乾電池を使わない ●使い切った乾電池はすぐに取り出す ●しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

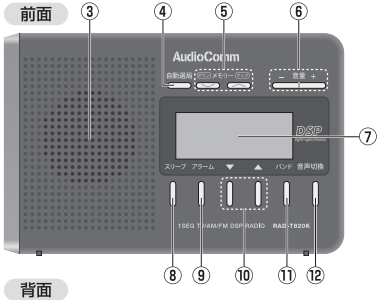
●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
●万一お子様が乾電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
●万一もれた液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。失明の原因となります。
●使用済みの電池を廃棄するとき、自治体の条例などで決まりがある場合にはそれに従って廃棄してください。

各部の名称

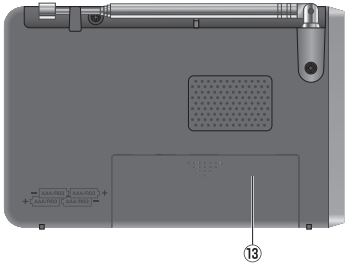
上面



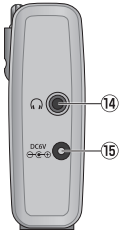
前面



背面

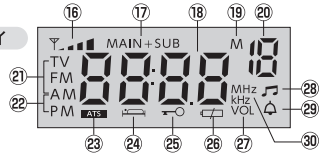


左側面



①ロッドアンテナ
②電源／ホールドボタン
③スピーカー
④自動選局ボタン
⑤メモリーボタン(ダウン／アップ)
⑥音量ボタン(－／＋)
⑦ディスプレイ
⑧スリープボタン
⑨アラームボタン
⑩選局ボタン(▼／▲)
⑪バンド切換ボタン
⑫音声切換ボタン
⑬電池ぶた
⑭イヤホン端子
⑮DC IN(外部電源)端子
⑯受信レベル表示(TV・FM時のみ)
⑰TV音声表示
⑱現在時刻／アラーム時刻／スリープ設定／周波数／テレビチャンネルなどの表示
⑲メモリーマーク
⑳メモリー番号
㉑バンド表示
㉒午前／午後表示
※「AM」はAM放送と午前表示を兼用
㉓ATS(自動選局)マーク
㉔スリープマーク
㉕ホールドマーク
㉖電池交換／低電圧時マーク
㉗音量マーク
㉘アラーム音源マーク(ラジオ／テレビ)
㉙アラーム音源マーク(ビープ音)
㉚周波数単位

ディスプレイ

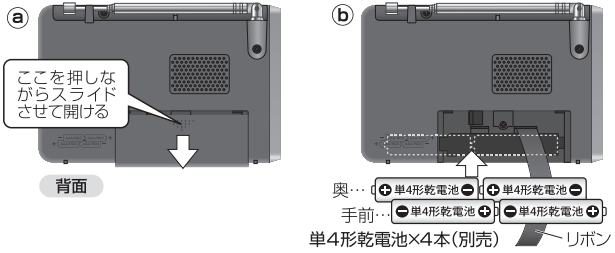


乾電池の入れかた

❶ 本機背面の電池ぶたを押しながら、矢印の方向にスライドさせて開けます（下図ⓐ参照）。

❷ ⊕⊖の向きに注意しながら、単4形乾電池4本（別売）を正しく入れます（下図ⓑ参照）。
※リボンの上から装着すると、交換時に取り外しやすくなります。
※奥、手前ともに電池挿入部から乾電池を入れて左にスライドさせ、しっかり装着してください。

❸ 乾電池を入れ終えたら、電池ぶたを元通りにしっかりと閉めてください。



ヒント

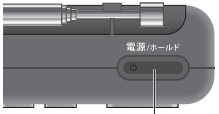
初めて乾電池を入れた直後は：電源オン時、TVの自動選局が始まります。受信できないときは「no」表示となります。自動受信が始まらない、受信できない場合はP.8をご参照ください。

乾電池交換の目安：乾電池が消耗すると、受信状態が不安定になったり、音量が小さくなったりします。また、残量がごくわずかになると、電池交換マーク（⇦）が点滅します。なるべく早く新しいものと交換してください。電池交換マークは乾電池を取り外したあともしばらく点滅します。

乾電池交換時の各種設定の保持について：乾電池の取り外しを行なうと、以下の設定が破棄されることがあります。必要に応じて再設定してください。

●現在時刻の設定　●メモリー登録内容　●アラーム設定

電源のオン／オフ



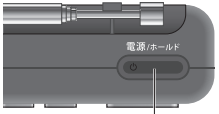
電源オン：電源／ホールドボタンを押すとディスプレイのバックライトが点灯し、電源が入ります。電源が入ると、前回聴いていた放送を受信します。

電源オフ：電源／ホールドボタンを押します（電源を切るときも一時的にバックライトが点灯し、現在時刻表示になります。その後、約7秒経つと消灯します）。

ヒント

バックライトについて：電源のオン／オフに関係なく、何らかのボタン操作をすると約7秒間バックライトが点灯します。ただし、電源オフ時にスリープボタンを押すとスリープ設定が有効な状態で電源オン、同じく電源オフ時にアラームボタンはアラーム設定時刻表示となります。

ホールド機能



●電源／ホールドボタンを約2秒間長押しすると、ホールドマーク（⊶○）が表示され、ボタン操作ができなくなります。誤操作を防止したいときにお使いください。

●再度同ボタンを長押し（約2秒間）すると、ホールドマークが消灯し、ホールド機能が解除されます。

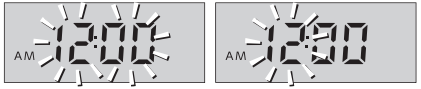
●ホールド機能に関する上記の操作は、電源オン時もオフ時も可能です。

ホールド機能有効時にボタン操作をすると、一時的に「Loc」が表示されます。

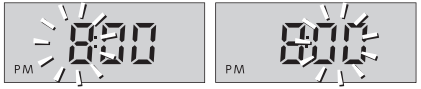
時刻の設定方法

❶ **電源が切れていることを確認する。**

❷ **自動選局ボタンを長押しする 。**
「時」表示が点滅するまで、約2秒間長押ししてください。



❸ **音量ボタン（−／+）で「時」を選び、自動選局ボタンを押す。**
「分」表示が点滅します。



❹ **音量ボタン（−／+）で「分」を選び、自動選局ボタンを押す。**
設定が完了します。

設定完了時は点滅が点灯に変わります。

ヒント

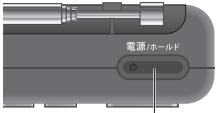
1セグ放送受信時は時刻が自動補正されますので、定期的に1セグ放送を受信されることをおすすめします。

ご注意

●何も操作しない時間が約5秒間続くとバックライトが消灯し、さらに約2秒後には設定操作がキャンセルされます。その際は、最初からやり直してください。

●乾電池交換時は、再設定が必要な場合があります。

手動選局



上面 ❶❺

前面 ❹ ❸ ❷

❶ **電源／ホールドボタンを押して電源を入れる。**
バックライトが点灯します。
2回目以降に電源を入れたときには、最後に聴いていた放送を受信します。

❷ **バンドボタンを押してFMまたはAMを選ぶ。**
バンドボタンを押すたびに、TV→FM→AMの順で切り換わります。

❸ **選局ボタン(▼／▲)を押して聴きたい放送局を選ぶ。**
●**短く押すと：** FM放送では0.1MHz単位で送ります。
AM放送では9kHz単位で送ります。
●**長押しすると：** 周波数が昇順(降順)で送られ、いちばん最初に受信できた放送局で止まります。

FM放送では、電波の受信状況が表示されます。

❹ **音量ボタン(－／＋)で音量を調節する。**
●音量は約2秒間表示されます。
●音量の上げすぎにご注意ください。

❺ **終了するときは電源／ホールドボタンを押す。**
バックライトが点灯し、時刻表示に戻った後、しばらくして消灯します。

ヒント　よりクリアな放送を楽しむために…

AM放送の場合
AMアンテナは本機に内蔵されています。
本機の向きを変えて調節してください。

FM放送の場合
FMロッドアンテナを伸ばし、アンテナの角度や本機の向き・場所を調節してください。

自動メモリー登録

※初めて使用の際、各バンド選択時(TVは自動)に自動的にオートスキャンを開始します。

自動選局ボタン
(長押し)

前面

お使いの場所で受信可能なFM、AM、テレビをオートスキャンしてメモリー登録することができます。
自動メモリー登録を行うには、電源オンの状態で、各バンド選択時に自動選局ボタンを長押ししてください。
●オートスキャンが始まると、ATSマーク(ATS)が点滅しながら周波数(TV時はチャンネル番号)が自動で送られ、受信可能な放送局が登録されていきます。終了するまでにしばらく時間がかかりますので、そのままお待ちください。
●FM、AM、TVそれぞれ最大19局まで自動登録します。
●スキャニングが終わると、登録された最初の放送局を受信し、「M」(メモリーマーク)と「1」(メモリー番号)が表示されます。

ヒントとご注意

●**登録した放送局を呼び出すには：** メモリーボタン(ダウン／アップ)で選ぶことができます。
●選局ボタン(▼／▲)で周波数を動かすと、元に戻してもメモリーマーク及びメモリー番号は表示されません。
●自動選局後に手動メモリー登録(次項参照)を行うと、メモリー番号に割り振られた放送局が上書きされますのでご注意ください。
●窓際など受信状態のよい場所での操作をおすすめします。

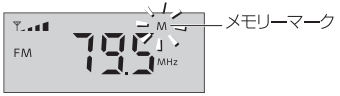
ラジオを聴く（つづき）

手動メモリー登録

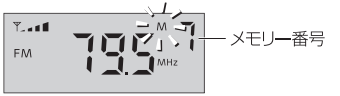
手動にてメモリー番号に任意の放送局を登録することができます。FM、AM、TVそれぞれ最大19局まで登録できます。

❶ **登録したい放送局を受信する。**
P.7を参照して操作してください。

❷ **自動選局ボタンを押す。**
メモリーマークが点滅します。



❸ **メモリーボタン(ダウン／アップ)を押して登録したいメモリー番号を選び、自動選局ボタンを押す**
＝登録完了
メモリーボタン(ダウン／アップ)を押すとメモリー番号が表示されるので、そのまま数回押して登録したい番号を選んで、自動選局ボタンを押してください。

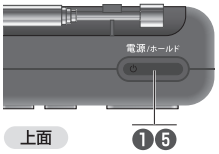


ヒントとご注意

- **登録した放送局を呼び出すには：**メモリーボタン(ダウン／アップ)で選ぶことができます。
- 選局ボタン(▼／▲)で周波数を動かすと、元に戻してもメモリーマーク及びメモリー番号は表示されません。
- 手動メモリー登録後に自動選局(前項参照)を行うと、メモリー番号に割り振られた放送局がすべて上書きされますのでご注意ください。
- 何も操作しない時間が約5秒間続くと、登録操作がキャンセルされます。その際はもう一度ステップ❷からやり直してください。
- FM放送は、海外でも使用できるワイドバンド(～108MHz)に対応しています。切換方法は、電源が入っていない状態で、音声切換ボタンを押しながらスリープボタンを約3秒ほど長押ししてください。
  元に戻す場合は、同じ操作を繰り返してください。

1セグテレビの音声を聴く

ヒント 本機では1セグテレビ放送の音声を楽しむことができます。1セグテレビ放送を聴くときは、あらかじめ自動選局にて受信可能な放送局を登録し、メモリーボタン(ダウン／アップ)を使って選局することをおすすめします。



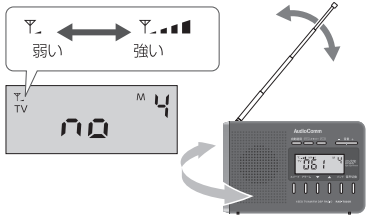
※手動メモリー登録はP.9をご参照ください。

❶ **電源／ホールドボタンを押して電源を入れる。**
- バックライトが点灯します。
- 2回目以降に電源を入れたときには、最後に聴いていた放送を受信します。

❷ **自動選局ボタンを長押しして、自動選局(メモリー登録)を開始する。**
- スキャニングが始まると、ATSマーク(ATS)が点滅しながら周波数(TV時はチャンネル番号)が自動で送られ、FM→AM→TVの順に受信可能な放送局が登録されていきます。終了するまでにしばらく時間がかかりますので、そのままお待ちください。
- FM、AM、TVそれぞれ最大19局まで自動登録します。
- スキャニングが終わると、自動選局開始直前のバンドにて、メモリー番号1に登録された放送局を受信します。

❸ **TV以外の放送が選ばれているときは、バンドボタンを押してTVにする。その後、メモリーボタン(ダウン／アップ)を使って、お聴きになりたい放送局を選ぶ。**

ヒント 電波が弱い場合、音声が途切れ途切れになります。また、受信できない場合は、「no」が表示されます。このようなときは窓際などに本機を移動させる、アンテナを伸ばし角度を変えるなど、より良く受信できるように調節してください。



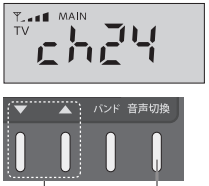
次ページへ続く

1セグテレビの音声を聴く（つづき）

❹ 音量ボタン(−／+)で音量を調節する。
- ●音量は約2秒間表示されます。
- ●音量の上げすぎにご注意ください。

❺ 終了するときは電源／ホールドボタンを押す。
バックライトが点灯し、時刻表示に戻った後、しばらくして消灯します。

ヒント
- ●**1チャンネルずつ送るには：**選局ボタン(▼／▲)を押します。ただし、放送局のないチャンネルも含めて順に送られるため、選局に時間がかかります。
- ●**音声切換ボタンを押すと：**主音声(MAIN)→副音声(SUB)+混声出力(MAIN+SUB)を順に切り換えることができます。副音声がない番組の場合は、常に主音声を出力します。



ご注意
- ●選択された放送局にて、受信されない状態が約5分間続いた場合、自動的に電源がオフになります。
- ●地上波デジタル放送では、各放送地域内にてチャンネル(ch)番号に対応した3桁の番号(例 031)がつけられています。自動選局あるいは手動で受信した場合はこの番号が表示されます。また、1つのチャンネル(ch)で複数の放送が行われている場合は、この3桁の下1桁の表示が異なります(例 032)。
- ●3桁のチャンネル番号は、各放送地域内では別の番号になっています。隣接地域の放送局で同じ3桁番号になる場合は、放送局を区別するために、さらにもう1桁番号が附与(例0311)されます。最大3局まで受信可能です。
- ●お住まいの地域の放送局は、新聞番組欄などにてご確認ください。また、お住まいの地域以外にてご使用の際は、再度、自動メモリー登録(P.8参照)などにて受信設定することをお勧めします。

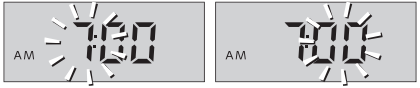
アラーム

アラーム音は、ビープ音または放送音声(AM、FM、TV)から音源を選択できます。
電源が切れた状態で設定してください。また、放送音声をアラーム音にする場合は設定したい放送局を選んでから、電源をオフにして操作してください。

前面

❶ 電源が切れた状態で、アラームボタンを長押しする。
アラーム時刻が表示され、「時」表示が点滅します。

❷ 音量ボタン(−／+)でアラーム起動時刻の「時」を選び、アラームボタンを押す。
「時」の設定が確定し、「分」表示が点滅します。



❸ ステップ3と同様の操作で、「分」を設定する。
アラーム時刻の設定が確定します。

❹ アラームボタンを数回押して、音源を選ぶ。
ボタンを押すたびにアラーム音源マークが、🔔→♪→表示なし の順で切り換わります(表示なしはアラームを起動しないの意)。マークを選ぶと起動設定が確定します。

🔔…ビープ音
♪…ラジオまたはテレビ

ご注意
- ●何も操作しない時間が約7秒間続くと、バックライトが消灯し、設定操作がキャンセルされます。その際は、最初からやり直してください。

ヒント
- ●**アラームが鳴ったら：**アラームが起動すると、少しずつ音量が大きくなっていきます。電源／ホールドボタンを押して電源を切ってください。
- ●**アラーム起動設定を解除するには：**アラーム音源マークが表示されているときは、翌日の同じ時刻にアラームが起動します。起動設定を解除するには、アラームボタンを数回押してアラーム音源マークを消してください。

スリープ

自動電源オフまでの時間を設定することができます。

前面

スリープボタン

スリープを設定するには、スリープボタンを数回押して電源オフまでの時間を選ぶ。

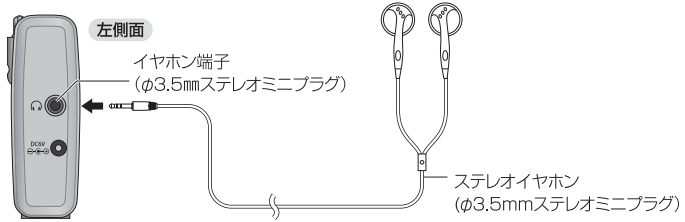
- スリープ設定時はスリープマーク(⏾)が点灯します。
- 「90」から10分単位で「00」まで変化します。設定したい数字を表示させてしばらくそのままにすると、設定が確定し、元の画面に戻ります。

ヒント

- スリープ設定後、スリープボタンを押すと電源オフまでの残り時間が約2秒間表示されます。
- スリープを解除するには、スリープボタンを数回押して、「00」にしてください。
- 電源オフ時にスリープボタンを押すと、スリープ設定オンの状態で電源が入り、前回聴いていた放送を受信します。

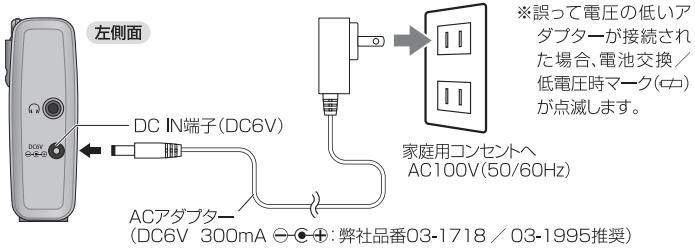
イヤホンで聴くときは

- 付属のステレオイヤホン(φ3.5mmステレオミニプラグ)を本機左側面のイヤホン端子につなぎます。イヤホンをつなぐと、スピーカーからの音は聴こえなくなります。
- FMやテレビの音声をステレオで楽しむことができます(ステレオ放送番組に限ります)。
- イヤホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
- 外部電源(家庭用コンセント)でご使用時、イヤホンでお聴きになると、ハム音(ラジオなどの音声に混じって聴こえる「ブーン」という音)が耳障りになることがあります。その場合は、乾電池にてご使用になられるようお願いいたします。



外部電源で使用するときは

DC6Vに対応したACアダプター(市販品)を使って、本機左側面のDC IN端子と家庭用コンセントに接続します。DC IN端子に接続すると、乾電池が入っている場合でもACアダプターからの電源供給に切り換わります。



※誤って電圧の低いアダプターが接続された場合、電池交換/低電圧時マーク(⏤)が点滅します。

故障かなと思ったら

症状	チェック項目
電源が入らない	●乾電池が正しく入っていますか。
	●乾電池が消耗していませんか。
	●外部電源のプラグが正しく接続されていますか(外部電源使用時)。
	●ホールドモードになっていませんか(解除してください)。
音が出ない	●電源が入っていますか。
	●音量が最小になっていませんか。
	●イヤホン端子にイヤホンが接続されたままになっていませんか。
雑音が入る	●近くで携帯電話を使用していませんか。また、テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信していませんか(雑音が入ることがあります、離して使用してください)。
	●乾電池が消耗していませんか(残量が少なくなると受信しづらくなります)。

※途中から操作ができなくなったり、意図しない動作をしたときは、一度電源を切って乾電池を取り外した後、もう一度乾電池の装着からやり直してみてください。

※工場出荷状態へ戻すには、メモリーボタン(アップ)と選局ボタン(▼)を同時に約3秒長押ししてください。

お手入れのしかた

本体の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しない